

新課程を意識した 2018 年首都圏中学入試 注目の一問

■国語 小泉浩明先生のコメント

- ・開成 大問1 従来の国語を超えた問題
- ・筑波大学附属 大問1 グラフを読み取る問題
- ・淑徳与野 大問4 往復はがきを正しく使わせる方法を考える問題

■算数 竹内洋人先生のコメント

算数はあまり見られなかったのですが、強いて言えば次の2校の問題です。

- ・栄東大クラス選抜 大問3(2)
- ・渋谷教育学園渋谷第1回 大問1(5)

ともに「身近な人にわかりやすく教える」という点で、昨年駒場東邦の作文問題と同様に、学んできたことを表現する力を問う内容になっていると思います。

■理科 小川眞士先生のコメント

以下のような問題が急増しています。

- ・光塩女子第1回 全体的にそうですが特に問5の資料を使って二つの立場から答える問題
- ・広尾学園第1回 5番
- ・雙葉 2番問2 文章記述
- ・桜蔭 IV番問9 図の記述
- ・駒場東邦 1番(8) グラフ記述

■社会 早川明夫先生のコメント

さまざまな資料(統計資料、史料、絵画、写真、地図、天気図など)を読み解く力が求められています。しかも一つの資料ではなく、複数の資料を用いた読解力が問われる問題がふえています。さらに言えば、資料読解の際には正確な基礎・基本の知識が必要とされる問題が多いことが特徴です。

例としては次の3校です。

- ・開成 大問2問5(2) 様々な複数の資料を用いた問題
- ・吉祥女子第1回 大問2問12 様々な複数の資料を用いた問題
- ・駒場東邦 問4(2) 初見の資料問題

中・高・大の入試問題をみても資料の読取りの問題が多いと言えます。小泉先生が紹介された開成の資料読解にからめた出題など、社会に限らず、全教科にまたがって資料の読解力が求められています。教科の枠を超えた横断的学習が今後必要とされていくのではないかと思います。